THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2015-2016)
国　際主題：　"Mission with Faith"（信念のあるミッション（使命・目標））
ア ジ ア主題：　"Through Love, Serve"（愛をもって奉仕をしよう）
西日本区主題：　「あなたならできる！きっとできる」"You can do it! Yes, you can!"
中 西 部主題：　和を以て貴しとなす
ク ラ ブ主題：　過去はもはや関係なく　未来はまだ来ぬ

Monthly Bulletin
第 232 号
2016 年 5 月

聖書のことば
おのおの主から分け与えられた分に応じ、それぞれ神に召されたときの身分のままで歩みなさい。
（コリントの信徒への手紙一　７章 17 節）
選者　桑原　頼子

５月第１例会プログラム

日時：2016 年5月 11 日（水）18：30～20：30
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会　杉浦　眞喜子
1．開会点鐘　鳥居　翠会長
2．ワイズソング
3．聖句朗読　桑原　頼子
4．ゲスト・ビジター紹介　鳥居　翠会長
5．連絡・報告・ニュース
6．食前感謝＆食事
7．メンバー卓話
「YMCA の留学生事情」
山佐　亜津子さん
8．お誕生祝い.
9．ニコニコ献金　ドライバー
10．YMCA の歌
11．閉会点鐘　鳥居　翠会長

例会当番（C）　受付当番（B）

４　月　統　計		
第１例会出席者数	例会出席率	Ｂ Ｆ 統 計
メンバー　16 名 ビジター　6名 ゲスト　3名 コメット　1名 合　計　26 名	出席者　16 名 メイキャップ　0名 合　計　16 名 在籍者　19 名 出席率　84%	日本　44ｇ　累計　1139ｇ 外国　35ｇ　累計　72ｇ 現金　円　累計　円 提供者：江見、国友、桑原、杉浦 武井、藤好

４月例会報告

HH キャンプの目的を知る

藤好　基子

４月 13 日（水）４月例会は、HH キャンプリーダー会長の西村智恵（さちえ）さんの『HH リーダー活動と国際キャンプについて』と題した卓話です。「HH キャンプ」って聴覚障がい者の方たちのキャンプという認識しかなかったのですが、理解を深める機会となりました。

1975 年に大阪 YMCA と香港中華 YMCA との協力で、第１回キャンプが香港で開催されました。その後、アジアを中心とする世界の国・地域からの参加者が集まり、今年は第 36 回国際キャンプが六甲山 YMCA で開催されます。

HH キャンプの目的は、相互理解と国際理解を深め、異文化交流と友だちつくりの機会を広げ、地域や聴覚障がい者を取り巻く課題解決の方法を見つけ、グローバルな視点にたち物事を考えられる力を身につける事と書かれています。

聴覚障がい者は一見して障がいを持っていることがわかりませんので、とても辛い経験をしている方が多いことから自尊心を傷つけられ、自信が持てなくなっている事も知りました。教育、交流、野外活動などコミュニケーションの機会や場を提供し、世界中のいろいろな場面でリーダーシップをとれる地球市民として活躍できることを目的としているそうです。（まさに YMCA の働き）

近年は手紙からメール、ライン、チャット、スカイプの時代となり、お互いの悩みなどが話せ、交流を深められるようになり、便利になったと話されました。

【次頁に続く】

西村さんは第18回のカナダで開催されたHHキャンプに参加されて、コミュニケーションの大切さを感じ、今はリーダー会長として若者を率先して支えてこられました。

HH国際キャンプは大阪クラブHH支援金・チャリティーラン支援金・国際支援金・グローバルユース支援金などで支えられています。（指定献金が可能）

皆が暮らしやすい世界になるように祈らずにはいられない例会になりました。

＜ファミリーコンサートに参加して＞

保田　圭子

2016年3月26日（土）大阪YMCA土佐堀会館２階ホールに於いて、大阪センテニアルクラブ、大阪なかのしまクラブが主催するファミリーコンサートが開催されました。

共同開催の委員会をもち、なかのしまは主にチケットを売り、当日お手伝いをさせていただきました。とはいえ私はチケットがなかなか売れず､ちょっとくじけていましたが……。ワイズの方はとても協力的でたくさん買っていただきました。

さて、当日、ファミリーコンサートと銘うっていただけあって、老いも若きも大人も子供もベビーカーの赤ちゃんも。普通のクラシックのコンサートとは一味違う大勢の参加者が続々。出演者の角地・中井夫妻、樋口さん、山之内さんにも赤ちゃんがいたり、小さな子供さんにヴァイオリンを教えていらしたりで子どもも参加できるコンサートを！　という強い希望があったそうです。そのために子ども席もつくられ、プログラムも大人向けのオペラのアリアや子供向けのディズニーやジブリのアニメソングなどが用意され歌われました。

私は子ども席のそばにいて、子どもが楽しそうに聞いている様子やたいくつしてきて騒ぎ出した様子に一喜一憂。走り回る子どもやマイクをさわりにいく子どもを止めたりしていましたが、出演者の方が上手くあしらわれるのを見て、ま、いいか～と。最後に出演者の角地さんが子どもをだきあげて舞台にのせてくださり、子どもたちも大喜びでした。

アンケートでは「ファミリーで楽しめてほっこり暖かい気持ちになった｣｢やっぱりコンサートは大人だけのほうが良い｣など、賛否両論ありましたがおおむねYMCAらしい良いコンサートだったと……。とにかくはじめての試みでした。改善しつつ２回、３回とできたらいいなと、思っています。

＜六甲山YMCAに集まろう！　に参加して＞

武井　和子

上がったり下がったり

４月16日（土曜日）10：00から中西部Ｙサ・ユース事業が“六甲山YMCAに集まろう！”をキャチフレーズに開催されました。

美しく素晴らしい六甲YMCA施設の整備と掃除を中西部Ｙサ・ユース事業主査：吉田由美さん指示のもとスタートしました。

なかのしまクラブは落ち葉清掃、ちらしには軽作業と記載されていましたが、かなりの重労働でした。敷地が広く建物の脇、下等々……、落ち葉（杉の枝など）が何層にも重なり、悪戦苦闘して集めて、階段や傾斜面を上がったり、下ったりしてメイングラウンドに運ぶ、それを何回も繰りかえし行いました。どこかで「上がったり下ったりはもういや」と言う声が聞こえてきました。

昼食はキャンプサイトで。その前に吉田Ｙサ・ユース事業主査から、紫陽花が描かれた六甲YMCAの看板の贈呈式とHHキャンプのための献金をしました。食前の祈りもそこそこに、カレーを頂きました。

午後の作業も落ち葉の清掃、建物の周りの清掃、溝掃除、普段掃除の手が回らない所の清掃、熊手で集められた落ち葉を、私が持参した造園業者が使用する大きな袋に奈良クラブの方々が一杯に詰めて２人がかりで、何度も上がったり下ったりしてグランドに運んで下さいました。他部からの参加者の方々に大変な重労働をしていただきありがとうございました。集めた落ち葉でたき火をして焼き芋作り、密が一杯の美味しい焼き芋でした。

夕食は六甲YMCA名物バーベキュー、飲み物は自費でその代金は熊本大震災の支援に……。全員で大合唱して、楽しかった一日が終了！

出席者70人以上、なかのしまクラブは10人の出席でした。帰途留学生２人を阪急六甲に車で送る仕事を引き受けましたが、道を間違えて40分もドライブをして再度山からやっと神戸市内に……。留学生に「六甲山冒険」と慰められました？

STAY HUNGRY, STAY FOOLISH, 11

生雲　文枝

阪神淡路大震災

1995 年１月 17 日、早朝、私は下から突き上げられるような衝撃を感じて飛び起きました。一瞬、飛行機がマンションに墜落したのかと思いましたが、繰り返される揺れに恐怖を感じて、急いで隣の部屋に寝ていた娘を揺り起こしました。阪神大震災でした。

少したって、７時頃だったでしょうか、突然電話が鳴り、急いで出ると、台湾出張中の社長からの電話で「地震で西宮の家が全壊して家内が家の下敷きになっている。息子が救助にあたっているが、私は今、台湾だから、どうにもできない。君はとりあえず、会社に行ってみてくれ。」という内容でした。まだ余震が続いていて、当時高校１年生だった娘が一人で家にいるのは怖いというので、二人でこわごわ、歩いて会社まで行きました。

なんとか会社にたどり着くと大阪市内に住む男子社員が２名来ていて、仕事をしていました。名古屋の取引先から注文の伝票がファックスでカタカタ、カタカタと流れてきていて、こちらは大変なことになっているのに普段と変わらない光景が奇妙に思えました。ひとりの社員は社長が台湾から戻ってくるので空港まで出迎えに行かなければならないとつぶやいていました。

その後、社長の奥様は柱と家具の隙間にいて、奇跡的に助け出されました。しかし、家は全壊し、社員のほとんどは神戸方面から来ていましたので、それからが大変でした。交通が遮断され、通勤できたのは私をふくめ、大阪近辺に住む数名だけだったので、私は当分、休日なしで出勤しなければなりませんでした。どうしても銀行に行かなければならない用事のある時、桑野さんは須磨からフェリーで出勤されていたものです。

熊本地震

この原稿は１月に書いたものです。まさかブリテンに掲載される時に熊本地震が起こるとは考えてもみませんでした。

３月５日に YMCA で開催された防災セミナーでは前回のブリテンにも書いたのですが、備えの大切さを教えていただきました。一人一日、３リットル、１週間分の水を備蓄しておきましょうといわれたのが、一番記憶に残っています。

世界探検をしている目　11

江見　淑子

平和な人には、未来がある

４月は、幼稚園生活初めてのこどもの戸惑いが渦蒔いています。新年度初めての礼拝は、お祈りするのも讃美歌も初めての子どもがいます。76 人がいろんな姿と顔を向けていました。

進級式（入園式の前日）で「讃美歌は歩く聖書であり、お祈りです」と在園児とご家庭の方に讃美歌の話をしたので、今日は続きの意味を込めたお話しにしました。

今「小鳥たちは小さくても、お守りなさる神様」と讃美歌を歌いました。讃美歌は神様に感謝する歌ですが、神様は小さなもの、弱いものを大切にしてくださいますと歌っています。

私たちは小さくて出来ないことは多いし、沢山助けてもらっています。でも、安心して甘えることができるのはとても大事なことです。安心して、助けたり助けられたりすることは、大人になっても必要なことです。

今日の聖書には「平和な人には未来がある」と書いてあります。助けたり助けられたりする平和な人たちには、未来・新しい道が広がりますよと、書いてあります。

讃美歌は、心が平和になる近道だと思います。知らない間に聖書の言葉とお祈りに守られます。

私が 50 年も前に聞いた、事件のことをお話しましょう。

ローワン号という大きな船が、お客を乗せて出発しました。良い旅を続けていたのですが、ある夜、船は海の中の大きな岩にぶつかり壊れました。お客は夜の海に投げ出されてしまいました。海に投げ出された人は、壊れた船の木切れにつかまり、助けが来るのを待ちました。だんだん叫ぶ力も、木に掴まる力もなくなりました。

そんな時、細いけれどしっかりした女の人の声で讃美歌が聞こえました。海の上では声がよく聞こえました。声を頼りに少しずつ人が集まり、一緒に讃美歌を歌いました。そして歌声を聞きつけて助けの船が現れました。

わたしたちは、大変な事故や災害に巻き込まれることがあります。大変な時に讃美歌を歌ったこの女の人は忘れられないお話しになりました。

讃美歌には、平和と未来を拓く力があります。神様のお力をいただきながら、今年も力いっぱい冒険しましょう。

大阪土佐堀クラブ６５周年例会に参加して

吉岡　香代子

大阪土佐堀ワイズメンスクラブの 65 周年例会が、４月２日（土）11 時から大阪城近くの KKR ホテルで開催された。

ちょうど５年前、60 周年会の準備中に東日本大震災が発生し、急遽中止、今回の 65 周年会を開催することになったとのこと。岩原義則会長が 65 年を振り返り、クラブの歴史を紹介された。

つづいて、蔭山秀一氏（関西経済同友会代表幹事）は「動き出す関西」について講演された。関西への外国人観光客の増加で旅行支出が増している。今後は訪日客に対してのビザ要件の緩和、免税額の拡充、Wi-Fi の整備、交通 IC カード創設などに取り組む。

また、関西事業の活性化に向けてのプロジェクトとして、夢島に会議場と展示場を作り、カジノ施設を設けよう、2021 年には 30 歳以上のスポーツ大会をアジアで初開催する、大学が中心になって企業と取り組み、iPS 細胞による再生医療のように、これからはどんどん治療が進むだろう医療産業に関する特区を作る、関西企業は成長するチャンスが数々あると元気付けられた。

会場の窓のカーテンが開かれると、この例会に合わせたような満開の桜と大阪城が観えた。このような会でしかお逢いしないワイズメンと楽しく歓談する。天龍小若丸師匠による河内音頭が始まり、参加者も加わり盛り上がり、和やかな雰囲気の時を過ごせた。

ニコニコ献金　４月　24,000 円

４月のニコニコ献金は、
HH キャンプ支援に捧げました。

〈ニコニコメッセージ〉―　４月例会　―

☆久しぶりのワイズ例会です。会長さんの働きぶりに応援します。（ゲスト・元京都センチュリークラブ：吉野美智子）
☆なかのしまクラブさんの例会には、いつもドキドキします。今日は大阪クラブ支援のHH キャンプリーダー会長西村さんの卓話というとても有意義な企画。（大阪クラブ：北村知三）
☆中西部をいつも活性化して頂いて感謝します。（大阪クラブ：清水　汎）
☆４月１日から大阪YMCA グローバル推進室に復帰した事。（大阪 YMCA：田尻忠邦）
☆花のころの例会に参加できて喜んでおります。HH キャンプのご支援よろしくお願いいたします。（大阪クラブ:豊島正利）
☆いつもありがとうございます。これからもよろしくお支えください。（大阪クラブ：藤岡宏樹）
☆相変わらず賑やかで生き生きして若々しさをさえ感じてしまいます。ますますの活躍・発展を祈っています。（大阪センテニアルクラブ:山田孝彦）
☆私がCS 主任の時に大阪クラブがHH キャンプの資金支援申請をされ、概要は知っていましたが、改めて青少年の為に役立つプログラムだということを認識いたしました。（生雲）
☆後から考えるとアッという間の桜花の時でした。東北新幹線で旅の予定、同級生３人 260 歳の珍道中です。（今井）
☆大阪クラブはHH キャンプ支援とわかっていても今回お話しを聞くまで、気づかない事が多かったです。キャンプが新たな友情を結ぶ機会であることに納得、心打たれました。六甲のお掃除も国際HH キャンプに関係あるそうです、頑張りました。（江見）
☆お花見ドライブに和歌山へ。ドラマ「真田丸」ゆかりの里、九度山町を散策しました。「幸村」の隠棲生活はおだやかな日々であったとか～に、少しほっとして、次なる「道の駅」のはしご。花よりダンゴの満喫した一日でした。（大岸）
☆あらためてHH キャンプのお話を聞き、歴史もあり多くの参加者のみなさんが素晴らしい体験をされていることを知りました。（大橋）
☆折からの強い雨で氏神さんの山桜があっという間に散ってしまいました。ご近所さんも私たちもこの杜のたった一本の桜が咲くのを、毎年心待ちにしています。（国友）
☆最近、公園～海岸まで時々ですが速歩ウォーキングしています。スマホの万歩計が勝手に計るのですが、歩幅が広いので歩数が少ないのです。友達に歩数が少なすぎると言われるのですが、ちょこちょこと歩幅を狭くすればたくさん歩いているようになるかな～？（桑原）
☆一昨日の夜、造幣局の通り抜けに行ってきました。とってもきれいで、いろいろな桜を満喫しました。（杉浦）
☆西村智恵さんのHH キャンプに対する深い思いを感じました。凄い努力をされたことが、お話しを伺って感じました。明るい方、笑顔の素晴らしさに、内に秘められた力強さ……、HH キャンプを応援しなければと思いました。（武井）
☆きょうのおなはし、たのしみです。（武井美帆）
☆本日は、ステキなお話を伺うことができて、心がほっこりしました。（鳥居）
☆４月９日今年も母と姉とお花見に。７日の風雨でずいぶん散ってしまった桜の下でのお弁当、美味しかったし楽しかったです。（藤井）
☆一人「桜の通り抜け」にブラブラと行ってきました。お目当ては今年の桜「牡丹」ではなくて、これまで調査中で新種と判明された「類嵐（たぐいあらし）」です。東京荒川堤にあった白色の一重の楚々とした桜でした。（藤好）
☆HH リーダーとして活躍されている西村智恵さんから、キャンプに参加されたお話を聞くことができ、学ぶことができました。（松下）
☆今日は大阪クラブのみなさんはじめ、たくさんのゲストが来られました。みなさん、西村さんの応援団なのですね。良い会でした。（保田）
☆ソメイヨシノは葉ざくらとなり、八重桜が咲き始め良い季節となりました。この良い季節はあっという間に暑い夏になるのでしょうね。（吉岡）
☆一番嬉しい事は、チャーミングな西村智恵さんと親しくなれたこと。これからも、ずーっと長いお付き合いが出来ますように。（吉田）

YMCA ニュース

☆第 277 回　早天祈祷会
日時：2016 年５月 20 日（金）7:30～8:30
奨励：川口　彰範さん
（YMCA 学院高等学校　生徒支援担当/臨床心理士）
場所：大阪 YMCA 会館　10 階チャペル

☆創立記念礼拝
日時：2016 年６月４日(土)　10：00～10：45
場所：大阪 YMCA 会館　10 階チャペル
奨励：岡村　恒牧師　（日本基督教団　大阪教会）

※引き続き活動報告会が行われます。
日時：2016 年６月４日（土）10：45～
場所：大阪 YMCA 会館　９階 903 号室
内容：活動報告（各事業現況、新規事業、Ｙボランティア等）

ピンクに染まった桜の季節も終わりをつげ、新緑の季節となってきました。みなさんの力できれいになった六甲山 YMCA でのんびり過ごしてみるのもいいですね（笑）！　大橋　昌美

《《《　お知らせ　》》》
◎桑野友子さん（芦屋クラブ）から「ブリテンありがとうございます。」と献金頂きました。感謝。
◎オードリ・ギルグさんから BF 使用済み切手を頂きました。感謝。

編　集　後　記

５月５日は端午の節句である。昔の人は菖蒲を軒に挿し、菖蒲湯をたてたりした。
最近ではこのような風習はだんだん薄れてきているように思う。この季節になると子どもの頃の行事が懐かしく思い出される。